

令和5年

12月号

No.650

今月  
の  
ご法話

徳こそ人の宝

# 法音

日蓮宗  
法音寺



# 勇猛精進

堪忍 かん にん

全てのことに「はい」と言おう

堪忍できる

全てのことに感謝しよう

堪忍できる

全てのことを喜ぼう

堪忍できる

続ければ仏になれる

## 月刊・法音 令和5年12月号 No.650 目次

【信仰の指針】 福相ふくそう 積まれた徳は相として現れます 1

【朝のこない夜はない】

徳こそ人の宝

山首 鈴木正修

2

◆ 講日のご案内

◆ 有縁の支院・布教所に、ご自由にご参詣ください 15

◆ 全山斉清掃奉仕コメント 18

◆ 仏教漫画「日蓮さま」・20他国侵逼難 21

◆ 他国侵逼難 29

◆ お寺の本棚 30

◆ 常寂光土への誘い(17) 32

◆ 季刊誌ひなた 33

◆ やさしい仏教 35

◆ のりのね体験 36

◆ 支院だより・御法推進全国大会 38

◆ 福祉のひろば 40

◆ 幸せのお手伝い 61

○ 昭徳会・福祉セミナーを開催 62

○ 小原寮カレンダーの販売について 64

○ 法音寺は「信仰と福祉のお寺」です 66

○ 日本福祉大学・学園創立70周年記念事業 ラシオトラマ「浅賀さ物語」 67

◆ 賛助員ご芳名 68

◆ 幸せの種まき／編集後記 70

◆ 連載まんが・ひまわり・131 思いがけないお返し 72

◆ 法音寺の社会福祉・教育事業 73

### 表紙題字 山首上人さま書

表紙写真・シクラメン

掲載写真 表紙・信仰の指針

3～15頁…梅田雅臣氏撮影

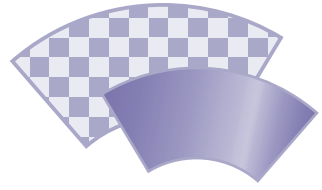
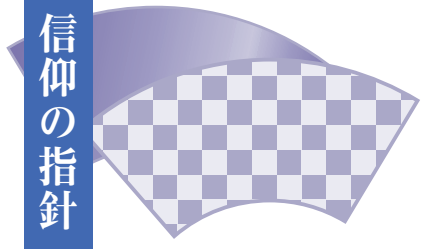
2頁…加納将人氏撮影

73 72 70 68 67 66 64 62 61 40 38 36 35 32 30 29 21 18 16 15

信仰の指針

# 福相

ふくそう



積み重ねた徳は

相として現れます

日教五



仏手柑



朝のこない夜はない

山首 鈴木正修



# 徳こそ人の宝

今年の5月、浄心道場が4年ぶりに行われました。その時に稲盛和夫さんの話をさせていただきました。

稲盛さんは「現代の経営の神さま」と言われ、昨年90歳で亡くなられました。稲盛さんは京セラを創業され、町工場から世界有数の大企業にされました。また、当時高すぎた日本の電話料金を安くするためにKDDIを立ち上げられました。創業者はKDDIほどの会社になりませんが、会社を上場した時に持ち株によって莫大な利益を得ますが、稲盛さんは一株も持っておられませんでした。株は全部、社員に譲って創業者の利益は一切ありませんでした。これは利他行であることの証でした。また、日本航空を倒産から救って2年8カ月で再上場に導かれ



ました。日本航空の再建を引き受けられた当時は民主党  
政権で、京都選出の前原大臣が稲盛さんに頼みに来られ  
ました。その時に稲盛さんが一つだけ条件を出されまし  
た。その条件というのが「給料なし」でした。本当に経  
営の神さま、仏さまです。

稲盛さんの講演を私は二度、京都と東京で聴きました。  
その時に聴いた話の中でとても印象に残っている言葉が  
あります。

「人生で大事なことは2つです。一つは、ど真剣に一日  
一日一生懸命に生きること。会社経営に関して、よく世  
間ではいろいろな権謀術数も時にはいると言いますが、  
全く嘘です。ただ、ど真剣に一生懸命にやる。それだけ  
です。もう一つは利他の心をいつも持ち続けることです。  
社員を、お客さまを、縁ある人をいつも幸せにしようと  
心掛けることです」



この後に六波羅蜜の話をされ、それに続いて運命について話されました。

「人生とは運命の織物のようなものです。人生は宿命の縦系と、立命の横系によって織りなされるものです」

「宿命の縦系」というのは生まれた時に持っているいろいろな条件のことです。「立命の横系」というのはその人の努力や徳を積むことによって変化するものです。稲盛さんは、運命の縦系よりも立命の横系の方が大事だ、ということを強調されていました。その後、安岡正篤さんの『立命の書』、「陰鷲録」を読むの話がされました。

『陰鷲録』とは袁了凡という中国の明の時代の（日本では豊臣秀吉の時代）の高級官僚が自分の体験を一冊の本に



したものです。袁了凡は若い頃に大易者に占ってもらって、それが悉く当たるものですから、自分の人生はすべて決まっていると信じ切っていました。しかしある時、雲谷禪師という高僧に出会って、運命は確かにあるが、自分の心と行いによって変えていくことができるのだ、ということをお教えられる、大いに運命を善い方に転換していきました。その体験を息子のために残したのが『陰騭録』です。その本が中国で広まり、それが江戸時代に日本に伝わり、現在も読み継がれています。アマゾンで検索しますと、6冊翻訳が出ています。むずかしいものから子ども向けのものまでいろいろあります。

『陰騭録』の中に「改過」という章があります。その中に「吉凶禍福には前兆がある」とあります。

「中国の春秋時代の至誠の心を持った重臣達が人の言動を観察し、予測してその過失や災禍を説くのに一つとし



て当たらないものはなかった。それはおよそ吉凶の兆は  
はじめ心の中に萌して、それから身体に現れてくるもので  
あるからである。それ故、福がまさに来ようとする時は、  
その善なる相を見て、あらかじめこれを知ることができ  
る。禍の来ようとするときも、その不善なる相を見て、  
必ず前もってこれを知ることができるのである」

歴史上、有名な話があります。戦国時代、毛利氏の外  
交僧として有名な安国寺惠瓊という僧侶がいました。後  
の豊臣秀吉の時代に大名となる人です。この安国寺惠瓊  
が京都にいた時に、色々なことを調査していました。今  
でいうスパイのような活動です。そして毛利氏の大將に  
手紙を送りました。その内容が次のようなものでした。  
「織田信長は今、天下人になろうとしているが、信長の  
時代は五年、いや三年も続かないであろう。来年には官





位を得て公家になるかもしれないが、その後は高ころび  
にあお向けに転ぶであろう。藤吉郎（豊臣秀吉）、さり  
とてはの者になろう」  
信長は失脚し秀吉がこれから天下を取るだろう」とい  
うことを信長と秀吉の様子を見て惠瓊は予言し、その通  
りになりました。間もなく信長は本能寺の変で明智光秀  
に殺され、秀吉が天下を取ることになったのです。

余談ですが、囲碁の世界で「三劫」というものがあり  
ます。これは非常に不吉とされています。三劫というの  
はだいたい一万回に一回くらい現れるという勝負のつか  
ない手です。これが本因坊算砂とそのライバルの林利玄  
が、本能寺の変の前夜に信長の御前で勝負したときに起  
ったのです。その翌日に信長が殺されたことにより、囲  
碁の世界では「三劫があらわれると不吉だ」と言われる



ようになったそうです。

カトリック教会の修道女として有名なマザー・テレサ  
が言っておられます。

「思考に気をつけなさい。それはいつか言葉になるから。  
言葉に気をつけなさい。それはいつか行動になるから。  
行動に気をつけなさい。それはいつか習慣になるから。  
習慣に気をつけなさい。それはいつか性格になるから。  
性格に気をつけなさい。それはいつか運命になるから」  
心に思ったことがひいては運命を決めるということです。

『心学道話』に次のような話があります。

昔、あるところに有名な八卦見（占い師）がいました。  
百発百中だと言われていました。ある日、目の前を通り  
かかった若い娘を見て、「あの娘は三日後に死ぬ」と言



いました。そこに居合わせた友人が「あんな元氣そうな娘が死ぬはずがない」と反論しました。それに對して八卦見は「わしの目に狂いはない。あの娘には明らかかな死相が現れている」と言い切りました。友人は娘をつけて、家を見とどけて戻ってから、八卦見と賭けをしました。八卦見は死ぬ方に賭け、友人は死なない方に賭けました。三日が経ちました。八卦見が友人に言いました。

「今頃あの娘の家では、娘が急逝して大騒ぎになってい  
るだろうから見てこい」

友人が見に行くくと、娘の家では葬式の準備どころか、全く平静でした。友人が拍子抜けしてしばらく見ていると、当の娘が元氣そうに出てきました。友人がその通り報告すると、八卦見は信じられないという顔をして、自分で確かめるために娘の家に行きました。そして娘を見て仰天しました。三日前に現れていた死相がすっかり



消え去っていたのです。八卦見は、この三日間に娘の運命を変えるような何事かがあったに違いない」と思い、「その間の出来事をすっかり話してほしい」と娘に頼みました。娘は「特別なことは何もありません。いつも通りです」と言います。しかし、八卦見はあきらめません。「もう一度、思い出してほしい。何かいつもと違う出来事があったはずだ」

娘は少し考えてから言いました。

「そう言えば昨夜、いつものように使いに行き、その帰り途、用を足したくなり、公衆便所に入りました。便所はひどく汚れていました。でも我慢できない程ではなかったのです、そのまま用を足して帰りました。家に帰ってからどうにも気になってならないので、寝る前になつてから、道具を提げて公衆便所に引き返して、きれいに掃除をしました。これで後の人も気持ちよく用が足せるた



ろうと思（おも）うと、心（こころ）が晴（は）れ晴（ば）れし、お陰（かげ）で昨（さく）夜（や）はぐっすり眠（ねむ）れました」

「それだ」と、八（は）卦（け）見（み）は膝（ひざ）を叩（たた）き、何（なん）のことかわからず、キョトンとしてい（お）る娘（むすめ）に言（い）いました。

「その晴（は）れ晴（ば）れした心（こころ）があなた（あなた）の相（そう）を（か）変（か）えたのだ。相（そう）を（か）変（か）えただけでなく、夜（よ）中（なか）に陰（いん）徳（とく）を（つ）積（つ）むこと（こと）によ（よ）って、運（うん）勢（せい）まで（か）変（か）えてしま（し）まったのだ」

この話（はなし）は『心（しん）学（がく）道（どう）話（わ）』で（す）か（ら）作（つく）り話（はなし）だと思（おも）います。

しかし、この話（はなし）の中（なか）には真（ま）実（じつ）が（あ）りま（す）。それ（は）、功（こう）徳（とく）を（つ）積（つ）むこと（こと）によ（よ）り、ど（ん）な運（うん）命（めい）も（か）変（か）わ（る）るゝとい（う）こと（こと）です。

人（にん）相（そう）を（か）含（ふ）め（て）人（ひと）の相（そう）とい（う）もの（は）、その心（こころ）遣（ひ）い（や）行（い）い（よ）って刻（こ）々（こ）と（か）変（か）わ（る）もの（は）です。貧（ひん）相（そう）だ（か）ら（と）い（い）って嘆（なげ）くこと（は）あ（り）ま（せ）ん。徳（とく）を（つ）積（つ）めば（よ）い（い）のです。また逆（さか）に（か）くこと（は）あ（り）ま（せ）ん。福（ふく）相（そう）だ（か）ら（と）い（い）って慢（まん）心（しん）して（は）い（け）ま（せ）ん。こ（ん）な話（はなし）が



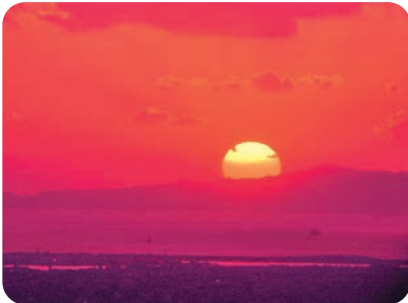


あります。

昔、イタリヤで、レオナルド・ダ・ヴィンチが、ある貴族から「キリストの絵を描いて欲しい」と頼まれました。そこで、キリストにふさわしい福相の人にモデルになってもらい、絵を仕上げました。この絵は大変に喜ばれたということですが、数年後にまた「キリストの絵を描いてほしい」と、別の貴族からの依頼があり、同じ人にモデルを頼もうとしたところ、全く別人のように貧相な顔になっていて、とてもモデルにならなかったということです。

最後に御開山上人のご法話を紹介して結びたいと思います。

「徳というものは、国家社会に奉仕をさせていただくよ



うな行い(おこな)をせねば得られ(え)ません。給料(きゅうりょう)や報酬(ほうし)はなくても奉仕(ほうし)をさせていた(え)だいた(え)なら(え)ば、徳(とく)が積(つ)まれます(え)からその徳(とく)が、必ず(かなら)将来(しょうらい)わが身(み)を潤(うる)して喜(よ)びごと(よ)が来(く)るのであります。精神(せいしん)修養(しゅうよう)をいた(え)しまして、人格(じんかく)を高(たか)めること(よ)はまず、人(ひと)に喜(よ)びを与(あた)えます(え)ことが第(だい)一(いつ)であります。修養(しゅうよう)をして得(え)られた徳(とく)の働(はたら)きは今(いま)までの悪(わる)い因縁(いんねん)を消滅(しょうめつ)する作用(さよう)もいた(え)します。ついに悩(なや)み、ある(あ)るいは迷(まよ)いという(いう)ものがな(な)くなり(な)ります。迷(まよ)いが取(と)れれば心(こころ)の奥底(おくそこ)よりうれしさが出(で)てき(き)ます。何(い)時(じ)とはな(な)く顔(かお)に笑(え)みが浮(う)かぶよう(よう)になり、自然(しぜん)と福相(ふくそう)にな(な)ります。そう(そう)なり(な)りますと願(ね)わずとも財(ざい)も得(え)られ、運(うん)も良(よ)くなる(な)るのであり(あ)ります。本(ほん)当(とう)に徳(とく)こそ人(ひと)の宝(たから)である(あ)ると思(おも)います。絶(た)えず努(ど)力(りき)して修養(しゅうよう)にいそしみ、徳(とく)を積(つ)みまし(ま)しょう」



良い教えの話を聞きましょう。

全国の法音寺各支院・布教所では  
毎月の講日の中で

三徳の教えを聞くことができます。  
是非講日にご参詣いただき  
教えを心にしみ込ませましょう。

◆今月の山首上人さまご親修日程

明川支院	12月2日(土)	亀岡布教所	12月10日(日)
西春支院	12月12日(火)	平賀支院	12月16日(土)
静岡支院	12月23日(土)		

# 有縁の支院・布教所に、ご自由にご参詣ください

支院・布教所名	今月の講話日など	住所	電話番号
大乘山泰明寺	5日・20日	名古屋市中村区名駅2-37-3	☎(052)581-2069
開基堂	10日	江南市寄木町天道18	☎(0587)53-5436
東京支院	3日・10日・23日	東京都練馬区谷原2-6-37	☎(03)3904-1251
静岡支院	2日・12日・23日	磐田市城之崎4-7-3	☎(0538)32-6625
豊川支院	4日・20日	豊川市中野川町1-26-3	☎(0533)86-4704
安城支院	10日・18日・28日	安城市新田町小山31-25	☎(0566)76-2504
明川支院	2日・23日	豊田市明川町堂ノ脇1-2	☎(0567)32-1825
佐屋支院	4日・10日・24日	愛西市大井町浦田面296	☎(0586)72-7208
一宮支院	5日・15日・25日	一宮市大江1-7-4	☎(0568)22-5813
西春支院	2日・12日・22日	北名古屋九之坪東ノ川20	☎(058)245-2939
岐阜支院	4日・14日・24日	岐阜市切通7-15-22	☎(058)388-2740
笠松布教所	12日	岐阜県羽島郡笠松町八幡町23	☎(0584)78-4854
大垣支院	1日・11日・21日	大垣市宝和町5	☎(0575)22-0776
関支院	3日・13日・23日	関市西福野町2-15-11	☎(0575)23-3771
平賀支院	2日・16日・24日	関市市平賀2-13-2	☎(0575)65-3933
郡上八幡支院	8日・24日	郡上市八幡町小野72-1-3	☎(059)352-3633
四日市支院	3日・13日・22日	四日市市赤堀2-4-7	☎(0595)21-0127
上野支院	1日・10日・21日	伊賀市上野向島町3475	☎(0595)21-0127

☎ご連絡は本山寺務局へ

京都支院	1日・9日・20日	京都市上京区北横町360	☎(075)231-3437
高槻支院	3日・21日	高槻市天神町1-9-2	☎(072)685-1003
大阪支院	10日・23日	大阪市此花区西九条3-4-41	☎(06)6465-5051
和泉支院	3日・22日	大阪府泉南郡田尻町嘉祥寺404	☎(072)466-3112
神戸支院	9日・21日	神戸市兵庫区五宮19-17	☎(078)360-4884
淡路支院	5日・25日	南あわじ市神代国衙9-10	☎(0799)421-0175
岡山支院	3日・7日	岡山市南区若葉町1-16	☎(086)262-0818
高知布教所	12日	高知市上町5-5-39	☎(088)823-1983
福山支院	3日・17日	福山市西町3-19-5	☎(084)921-3078
三原支院	9日・17日	三原市皆実2-9-22	☎(0848)62-5087
安芸津支院	2日・17日	東広島市安芸津町三津3765-3	☎(0846)45-4012
坂支院	3日	広島県安芸郡坂町坂東2-24-12	☎(082)885-1064
福岡支院	3日・15日・17日	福岡市早良区城西2-11-37	☎(092)821-7975
壱岐布教所	13日・23日	壱岐市石田町池田東触1-1-2	☎(0920)44-5445
筑後布教所	10日・24日	筑後市大字西牟田5954-1	☎(0942)53-7273
天草布教所	1日	上天草市大矢野町維和1502-1	☎(0964)58-0742
田川支院	10日・24日	田川市春日町7-30	☎(0947)42-1819
名古屋地区	7日・17日・27日	名古屋市昭和区駒方町3-3	☎(052)831-7135
瀬戸布教所	9日・19日・23日	瀬戸市東本町2-20	☎(0561)85-6860
亀岡布教所	10日・24日	亀岡市篠町篠牧田73-1	☎(0771)25-7807

※スケジュールは変更されることがあります。詳しくは各支院・布教所にお問い合わせください。(掲載順不同)



青少年育成委員会主催

『2023年 全山一斉清掃奉仕コメント』

全国の各支院や布教所で、近隣の落葉集めや清掃を行いました。



利他の精神をもって実施しました



♪ご参詣の方が気持ち良く  
来ていただけるように、と  
心を込めて



お寺に親しみを持つことを目的に境内  
などの清掃に取り組みました



お題目をお唱えしながら  
子ども達が安全に遊べるように  
雑草を抜きます



この道を通られる皆さまが  
どうか幸せの縁にふれられますように



「きれいな環境は争いごとをなくす」  
という支院目標にのっとり  
清掃いたしました



ご先祖さまに感謝の心で





地域の皆さまに支院の活動をご理解いただくために

みんなが思いやりの心を持てるように



老人ホームの方々に喜んでいただけるように



周辺地域へ感謝の気持ちを込めて



に ち れ ん  
日蓮さま

20 た 国 侵 逼 難  
他 国 侵 逼 難



文永5年(1268)の正月  
突然蒙古の使者が  
皇帝フバイ・ハンの  
命を受けて来日し  
国辱的な通牒を  
幕府につきつけました



皇帝はかねてより  
貴国について大変  
興味をもっておられた

貴国では多くの金とれるらしい  
そこで今後貴国との間に  
通商を取り交わしたいと  
希望している



皇帝はわが国に  
金を差し出せと  
申されるのか？



直接的に言えば  
その通りである

もしこの要求を  
受け入れないのならば

千艘の軍船が貴国に  
向かうことになるが  
よろしいか



しばらく検討を  
要するため  
時間を  
いただきたい



よく考えるが  
よい：  
ただ覚えて  
おくがよい

我々にとっては  
小さな島国を  
征圧するのに  
時間はかからない







表向き通商と  
言いながら  
侵攻をちらつかせる  
とは何と理不尽な  
ことだろ

何とも大変な  
ことになったな



そんなもの  
相手にしなければ  
よいではないか

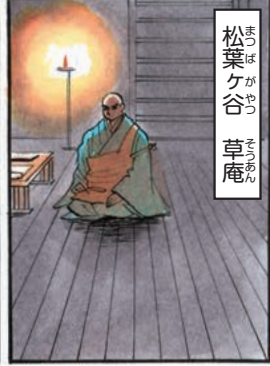
お主は知らぬのか  
蒙古は大陸全土を  
掌握したチンギス・ハンの国だ  
現在の皇帝はその孫だぞうだ

そんなもの関係ない  
返り討ちにしてやれば  
よいのだ

そつだ  
思い知らせ  
やればよいのだ



遼ること文応元年(1260)  
私は宿屋光則殿を介し  
「立正安国論」を幕府に奏上し



松葉ヶ谷 草庵



三災七難の原因は  
邪教の蔓延にあり  
国をあげて法華一仏乗の  
正法を立てなければ

まだ起きていない  
内乱(自界叛逆)と  
外国からの侵略(他国侵逼)の  
二難を逃れることは  
できないと警告していたはず

まさに「立正安国論」で  
予証された他国侵逼難が  
今現実的なものになったのです



宿屋光則の館



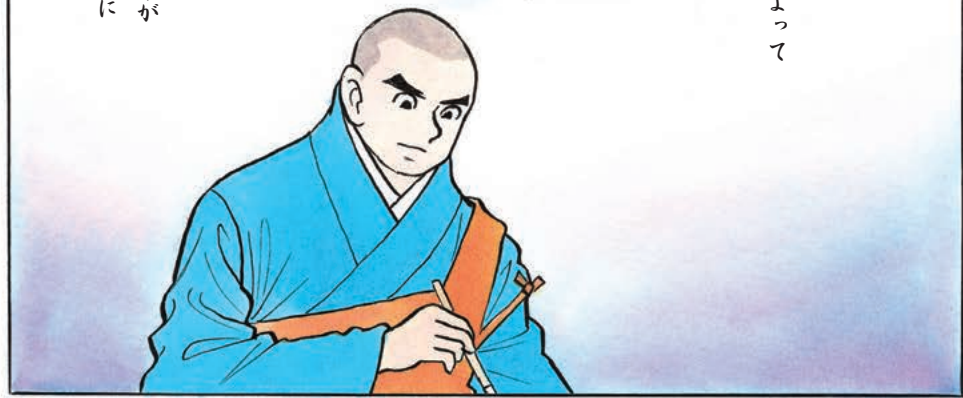
お館さま  
日蓮殿からの  
文でございます



宿屋光則殿  
まさに私が予言した通り  
他国侵逼の難が起りました  
このままでは蒙古国の大玉によって  
わが日の本は滅ぼされますぞ



どうか鎌倉殿に  
この旨を伝え  
「立正安国論」に対する  
幕府の回答をいただきたい  
この国難に対して幕府と民衆が  
正しい教えによって心を一つに  
しなければなりません







北条時宗の館

北条時宗

宿屋光則

極楽寺良観



鎌倉殿  
日蓮は「立正安国論」  
に対する幕府のきそを  
求めています  
いかがいたしましたしょう



この日蓮と  
申す者が  
予言したとい  
うのは本当か？



乞食坊主の  
言いつことを  
お信じになるの  
ですか？

わしは予言した  
ことが本当かと  
聞いておる

それは確かで  
ございます

ならばこの者の  
話を聞く必要も  
あるのでは  
ないか？



お待ちください  
当時仏道に造詣の深かった  
お父上時頼さまが  
取り合わなかったのですよ

日蓮の主張は  
念仏・真言・禅・律を  
一切排除する点にあります  
それを幕府が支持するとなれば  
これまでの諸宗の  
信仰を否定することになり  
人々の信用を失います

時頼さまは世が混乱することを  
懸念されたからでございます

しかし予言が  
当たったではないか



そんなもの  
偶然であり  
取り合っ  
必要ありません



日蓮こそ世を  
舌す者でこそ

そうか  
では皆にも  
迂闊に日蓮の  
挑発に乗らぬ  
よう申し伝えよ

ははー!



日蓮殿の  
力になれず  
申し訳ない…



重ねて蒙古の襲来を  
警告申し上げます

急いでこれまでの宗派への  
御帰依をお止めください

そうしなければ大難が  
目の本を襲います

そうならないためにも  
法華経をもって国を

治めていただきたい

これは決して日蓮の  
勝手な見解ではありません

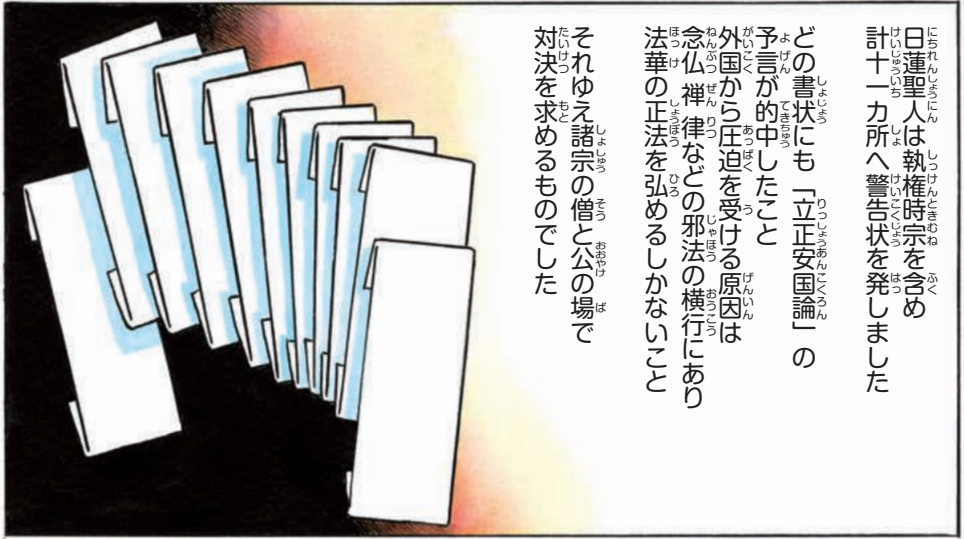
これはただひたすらに

大きな忠心を懐いているからであり  
このためではなく神のため

主君のため国のため  
一切衆生のために申し上げているのです





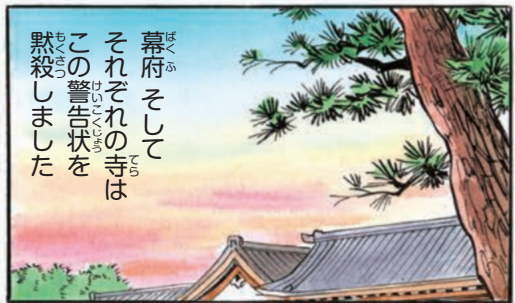


日蓮聖人は執権時宗を含め  
計十一カ所へ警告状を發しました

どの書状にも「立正安国論」の  
予言が的中したこと

外国から圧迫を受ける原因は  
念仏・禅・律などの邪法の横行にあり  
法華の正法を弘めるしかないこと

それゆえ諸宗の僧と公の場で  
対決を求めたものでした



日蓮の言うことを  
皆は悪かなことだと  
あいて  
相手にしない

法を説く私に迫害を加え  
難が及ぶであろう  
それどころか皆にも弾圧が  
およびに違いない

しかし  
正法を聞くことによつて  
仏縁が結ばれ成仏する種が  
植え付けられるのです

どのような難に遭つても  
決してあきらめず  
いけません

我等  
不借身命の  
精神をもつて  
広宣流布に  
努めます

南無妙法蓮華經

南無妙法蓮華經

南無妙法蓮華經

南無妙法蓮華經

## 他国侵逼難

速やかに正法に帰依しなければ、経文に説かれている三災七難などの種々の災難のうち、まだ起こっていない自界叛逆難（内乱）と他国侵逼難（他国からの侵略）の二つの災難も起こるであろう」と、日蓮聖人が『立正安国論』を北条時頼に奏上したのが文応元年（1260年）のことでした。その8年後、予言が的中し、蒙古の使者がやってきたのです。

日蓮聖人はその年の11月に幕府の要人、特に他宗の僧侶に「公開討論」を要求する内容の書状（十一通御書）を送りました。そして、「私が述べることを信じなければ後悔することになります」と強硬に迫ったのです。その一方で、弟子や信徒には「弾圧を覚悟して、それでも決してくじけないように」と伝えたのです。日蓮聖人は「公開討論」で他宗と法論を交え、その結果人々を正法に帰依させ、あらゆる災難から国を守ろうとしたのです。

確かに日蓮聖人の予言が的中したことは事実でした。しかし、その書状に対して、幕府の要人や他宗の反応は皆無だったといえます。



蒙古の国書：東大寺尊勝院所蔵





# お寺の本棚




『**聖教**』  
ひじりのおしえ

## み教えを伝えるために

安立大法尼の教えは、因縁の理を悟り、三徳を実行することにあります。現代は、貧・病・争の苦しみ、不満と幸福感の欠如に悩まされております。貧とは、お金がないということだけではありません。心のまずしさ、心の狭さであります。今はそうではないと思っても、釈尊の説かれる生・老・病・死をはじめとする四苦・八苦から逃れることのできる人は誰もいないと思います。また、現代は物質万能の時代であり、目に見えないもの、人格の完成とか心の充実は、省みられないということも過言ではありません。

安立大法尼は、「私は安楽な、幸せな境遇を送っております。これを皆さま方に分かち、その方法を教えてあげたいと願っております」と、おっしゃっています。先生の生活は衣食・住について人のうらやむような生活ではありませんでした。それどころか、余財があれ





ば人に分け与える日常ですから、豊かさからは縁のない生活といえるものであります。それでも、不安のない幸せな生活であるとおっしゃるのは、人を怨んだり、物に対する不足を感じない日々であったからだろうと思います。因縁の理を悟り、非を他に求めないことによつていわれのない執着を去り、過去から現在に至る自分を見据えることによる安らぎであります。そこには、怒り・愚痴・貪りは出てきません。さらに、明日からの未来に向かっての心構えも、いたずらに利を求めたり、とらえどころもなく満足感のない地位や財産を追うことなく、日々、慈悲・至誠・堪忍の三徳を絶え間なく実行し、善因、善根を植えることによつてもたらされる物心両面の充実、善果に対する、ゆるぎない確信であつたと思います。先生が去られてから五十年、その面影を知る者も少なくなつてきました。

「時が過ぎていくのではない、人が過ぎていくのだ」という言葉があります。教えを聞かれた多くの人達も今は遠くなつています。しかし、先生の尊い教えだけは、一人でも多くの人に伝え、未来永劫、尽きることなく受持されなければならないのであります。

『月刊法音』第一三五号 六〇七頁

この本をもっと詳しく読んでみたい方は、法音寺本山、または各支院・布教所までお問い合わせください。

# 常寂光土への誘い (17)

無量義經 説法品第二

善男子、法は譬えば水の能く垢穢を洗うに、若しは井、若しは池、若しは江、若しは河、

溪・渠・大海、皆悉く能く諸有の垢穢を洗うが如く、其の法水も亦復是の如し、能く衆生

の諸の煩惱の垢を洗う。善男子、水の性は是れ一なれども江・河・井・地・溪・渠・大海、

各各別異なり。其の法性も亦復是の如し。塵勞を洗除すること等しくして差別なけれども、

三法・四果・二道不二なり。

「善男子よ、教えを与えるのはちようど、水が穢れた物を洗って清らかにすると同じように、心の迷いを除かせるためである。その水には井戸の水もあれば、池の水もある。大きい河の水、谷川の水、掘り割り  
の水、大海の水もあって、皆異なるけれど水は水であるから、池の水でも河の水でも、垢を除くという点  
では一致している。仏の教えは水のようなもので、教えを聞けばその人その人に応じて、心の垢である迷  
いが除かれるのである。そのものの相は、河と谷と池と井戸の水が違うように、教えもまた、三法・四果  
・二道によってみな異なるのである」。

「三法」とは、四諦・十二因縁・六波羅蜜。

「四果」は、須陀洹・斯陀含・阿那含・阿羅漢の、声聞の四果。

「二道」は、小乘（方便）と大乘（真実）であります。

※「三法」と言われている事には次の説もあります。（諸説あり）

一、仏・法・僧の三。

二、教・行・証の三。

三、経・律・論の三。

四、戒・定・慧の三。

五、衆生法・仏法・心法の三。

仏さまの教えは、人間の迷いを除くという点では同じですが、内容において高い・低い、深い・浅いという点では異なっているものです。低い教えである程度迷いが除かれても、もっと深刻な迷いが生じた時には、さらに高いみ教えが必要になります。手の汚れを洗うだけなら洗面器の水でよいのですが、体の垢は、風呂に入らなければ洗い落すことができないようなものであります。

善男子、水は俱に洗うと雖も而も井は池に非ず、池は江河に非ず、溪流は海に非ず。如来  
世雄の法に於て自在なるが如く、所説の諸法も亦復是の如し。初・中・後の説、皆能く衆

生の煩惱ぼんのうを洗除せんじよすれども、而も初しよは中ちゆうに非あらず、而も中ちゆうは後ごに非あらず。初しよ・中ちゆう・後ごの説せつ、文辞もんじ一じなりと雖も而も義ぎ各異かくいなり。

「善男子よ、水はどの水でも同じように汚れを洗うことができなくても、井戸の水と池の水は違う。池の水は河の水とは違う。谷川や溝を流れる水は海の水と違う。それと同じように、如来は世雄と言って、一切の世の中で最も勝れているのであるから、どんな教えでも自由自在に説くのであるが、その教えも一種ではない。初めに説いたものと、中頃に説いたものと、後に説いたものとは、異なるのである。人々の迷いを除くという点では同じであるけれども、その教えの深さ・浅さが違う。言葉に現われたところは同じようであるけれども、内容においては、その中に含まれている心・汲み取り方がそれぞれ異なるのである」。





ひなた  
wish your heart full of happiness.

季刊誌

年4回

1月・4月・7月・10月 発行

いつも喜びを持っていますか  
生かされて、生きていく



目次

- ・いつも喜びを持つ
- ・言葉のチカラ
- ・きょうの一品
- ・みんなの川柳
- ・ちょっと幸せにな
- ・まちがい探し
- ・私のおすすめ商品

目次

- ・大切なこと
- ・言葉のチカラ
- ・きょうの一品
- ・みんなの川柳
- ・ちょっと幸せにな
- ・まちがい探し
- ・お気に入りのアイ

ひなた

wish your heart full of happiness.

2023 autumn

目次

- ・失敗を生かす道
- ・言葉のチカラ
- ・きょうの一品
- ・みんなの川柳
- ・ちょっと幸せになる話
- ・まちがい探し
- ・お気に入りのアイテム！



縁ある人に  
ぜひさし上げてください

# やさしい仏教

## お墓

お墓には、単に先祖の遺骨を納める場所ではなく、故人と今生きている家族をつなぐ精神的な役割があります。お墓参りで故人を思い出すことによって、ご先祖の恩に感謝することができます。

日本人の古代から持っている死生観では、人は亡くなって肉体は滅びても霊魂は滅びません。お墓はその霊魂と家族が出会うための場所なのです。

また、お盆休みなどでお墓のある実家に帰り、普段離れ離れになっている親族を一つにすることができるともお墓の役割なのです。したがってお墓は、先祖と自分という縦のつながりを感じるだけ





ではなく、親戚同士という横のつながりも感じさせてくれる大切な存在です。

お墓参りは、故人の命日や年忌法要、お盆、お彼岸などにすることが多いようですが、入学・進学・就職・結婚など、人生の節目に報告を兼ねて、お参りするのにもよいでしょう。

## お仏壇

お仏壇には二つの意味があります。一つは「仏さまをお祀りする家の中の小さなお寺」、そして二つ目は「お位牌などをお祀りするご先祖さまの家」ということです。お仏壇は信心を篤くし、先祖に感謝する心を養う大切な役割があります。

家でお仏壇を安置する場所は、一般的に正面が南か東に向くように安置します。

お勤めは、朝夕二回行つとよいでしょう。



お墓参り  
YouTubeは  
こちらから!

ひろば

福祉の



# 幸せのお手伝い

～Aさんとの

関わりを通じて～

## 支援の在り方を教えてくれた

### 利用者さん

授産所高浜安立で就労支援に携わった一年目、私は新しく入所されたAさんの担当職員となりました。Aさんは、言語コミュニケーションが苦手な、見通しを持つことができないことに不安をもつ障がい特性がありました。また、作業中に自身の判断で作業をし、職員からの声掛けによって不安になる場面がみられることもありました。私はどのように支援したらAさんが働きやすくなるのか、どう伝えたら理解してもらえるのか、Aさ

んにとってより良い関わり方を考え、障がいに対する知識について改めて深めていくようにしました。Aさんに作業などについて伝える際、イラストや写真で視覚的に情報を伝えたところ、その後は視覚的な提示に沿って作業をするようになり、自身の判断で作業をすることはなくなりました。また安心して見通しを持つことができるようになり、はじめ予定などを伝えていきました。するとAさんは、落ち着いて過ごすことができるようになりました。

Aさんは入所当初から、「将来は就職したい」「お金をためて車を買いたい」という目標があり

ました。私はAさんの目標を応援するため、まずは社会経験を積むことができるよう、さまざまな企業での実習の機会を提供しました。Aさんは自動車部品工場やパン工場、塗装工場、清掃業、農業などの実習に三年ほど取り組まれました。一つずつの実習で、できたことや課題について一緒に振り返りを行っていきました。途中さまざまに困難もありましたが、社会経験を積んでいくことで、できることが増えていきました。

入所から四年が経ち、今では農業を担う特例子会社に就職され、日々仕事に励む様子がみられています。大変な中でもいきいきと働く姿に、こちらもまた頑張ろうと勇気をいただいています。

昭徳会に入職して十年、今でも日々学ぶことは多く、利用者さんとの関わりから教わることは数多くあります。支援のむずかしさを感じることも

ありますが、同時に利用者さんの成長を見た時にやり甲斐を感じることが出来ます。利用者さんへのより良い関わりや支援ができるよう、あきらめず、模索しながら接し、利用者さんの幸せな生活のために今後も努めていきたいと思っています。

授産所高浜安立 就労支援員 杉浦 知里



## 昭徳会 福祉セミナーを開催



写真提供・昭徳会

令和5年10月14日(土)に法音寺本堂にて「福祉セミナー」が開催されました。当日は200名近くの方がご参加されました。また、福祉セミナーの様子をYouTubeにて限定配信し、会場に来られない方にもご参加いただきました。

今年の福祉セミナーは「アートのつなぐ心の架け橋〜障がい福祉の偏見、社会の常識を変える〜」をテーマに掲げ、株式会社ヘラルボニーの代表取締役副社長・松田文登氏をお招きして講演会を行いました。また、講師の書籍販売サイン会や、昭徳会の障がい分野の施設から、小原寮、泰山寮、授産所高浜安立が出店し、利用者さんが作った商品の販売も行いました。

「異彩を、放て。〜福祉を起点につくる新たな文化〜」と題した松田氏の講演は、障がい福祉、社会に対する熱い思いが伝わる、とてもすばらしいものでした。

株式会社ヘラルボニーは、知的障がいのある作家達とライセンス契約を結び、そのデザインやアート作品を商品化して発信し、得た利益を作家に還元するという事業を行っている会社です。今や東京駅やJALの

機内などさまざまなところにアート作品が描かれており、ディズニーともコラボして商品を展開するなど、世界に向けて活動されています。

会社名になっている「ヘラルボニー」という言葉は、4歳年上の自閉症のお兄さんが小学生の時に学習帳に書いていた言葉だそうです。会社立ち上げ時の苦労や立ち上げに至るまでの思いなどを、当時の写真や映像を交えながらお話しくださいました。この自閉症のお兄さんの存在が、松田氏の人生に大きな影響を与え、障がい者に対する見方を変え、新しい文化として社会に発信していこう」という



原動力になっているように感じました。

「障がい＝欠落」ではなく、その違いは個性である。「障がい者のアート＝安い」ではない。「思いが届けば、社会は必ず変えられる」という言葉が印象的で、今ヘラルボニー

ーと契約を結んでいる作家達は、確定申告をするまでになっているそうです。この状態があたりまえになり、彼らの可能性を、価値を、どうやって世界に伝えていくか。私達も考えていかなければならないと思います。世界には障がいのある方が13億人いるそうです。すべての人が地域の中で自分らしく、価値のある存在でいられる地域共生社会の実現のために、できることから始めていきたい、そう思える講演でした。

最後になりますが、開催にあたりましてご尽力いただいた法音寺関係者さま、福祉セミナーにご参加いただいた皆さまに、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



福祉セミナー等実行委員会 委員長 金子 真帆





## 障がい者支援施設 小原寮カレンダーの 販売について

小原寮ではご利用者が絵画教室に参加しています。知的障がい者や自閉症の方々が描いた独特な画風は『アウトサイダー・アート』と呼ばれ、現在、注目されつつあり、小原寮でも作品をカレンダーにして販売します。

法音寺本山の新年祝禱会に境内で販売いたします。ご希望の方はお求めください。

ご利用者が思い思いに気持ちを込めて描いた作品を、どうぞお楽しみください。

- サイズ  
A3 (297mm×420mm)
- 表記  
休日・祝祭日・六曜
- 月めくり  
15ヶ月分 (2024年1月～2025年3月)
- 価格  
500円(税込) / 1冊



※画像は、昨年度のカレンダーで、サンプルとなります。





# 法音寺は「**信仰**と**福祉**のお寺」です



困っている人達の助けになることで、  
法音寺には“**功德**”が積み重ねられています

(功德とは、「幸せを引きよせる種」です)

その功德が信仰を通して  
皆さんに授けられるのです



## 法音寺による社会貢献

社会福祉法人昭徳会の運営を基に  
現在1,500名を超える人達のお世話をさせていただいています



福祉のさまざまな分野を支え、  
利用者さんの幸福を実現します



### 児童福祉施設

親と暮らせない約170名の子ども達の  
生活を支えています

### 保育園

毎日370名余りの園児達の  
成長を見守っています

### 障がい児・障がい者施設

300名を超える人々に  
日々希望を与えています

### 高齢者施設

600名ほどのお年寄りに  
寄り添っています



# 学園創立70周年記念事業 『ラジオドラマ「浅賀ふさ物語」』

～日本福祉大学～

学園創立70周年記念事業の一環で、CBCラジオ（愛知県名古屋市）と、特別ラジオドラマを制作・放送することとなりました。番組は12月に4回にわたって放送されます。主人公の「浅賀ふさ先生」は、日本初の医療ソーシャルワーカーとして活躍し、創立時に鈴木修学先生からの要請に応え本学に赴任された、日本の福祉、そして本学の歴史においても大きな足跡を残された先生です。

◎愛知県半田市からアメリカへ、そして福祉の道に進み、

本学で後進指導にあたられた激動の一生をラジオドラマ化  
浅賀ふさ先生（1894年～1986年）は、「知らねばならぬ、あらねばならぬ、なさねばならぬ」という信念をもち、医療ソーシャルワーカーの仕事にとどまらず、生涯にわたって数々のソーシャルアクションに取り組み、とともに、本学創立時より約20年にわたって、後進指導・研究にあたられました。当時の女性の生き方に疑問を持ち、愛知県半田市からアメリカへ旅立ち医療福祉を学び、帰国後日本初の医療ソーシャルワーカーとして奮闘され、その後、鈴木修学先生との出会いから教育者・研究者として歩まれた激動の生涯を、ラジオドラマで描きます。

◎愛知県出身の俳優、声優が熱演。

脚本は名古屋で活躍する鹿目由紀さんが担当  
今回、ラジオドラマで声優を務めていただくのは、愛知県出身の竹下景子さん、戸松遥さん、近藤芳正さん。その他にも、名古屋で活躍する劇団の役者、CBCラジオのアナウンサーなど約30名が出演。  
鈴木修学先生役の近藤芳正さんは、日本福祉大学付属高等学校の卒業生。第4話で登場されます。  
番組はradio（スマホでラジオが聴けるサービスです）で、聞き逃した場合も後で聴くことができます。  
また、radioでは、東海3県（愛知・岐阜・三重）以外の方々も聴くことができます。（但し有料となります）  
ぜひ、お聴きください。

知多半島が生んだ日本初の  
医療ソーシャルワーカーであり、  
日本の社会福祉の礎を築いた女性の物語。



日本福祉大学 学園創立70周年記念ラジオドラマ

# さいしょの一步

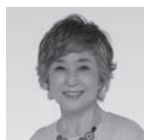
## 浅賀ふさ物語

知多半島が生んだ日本初の医療ソーシャルワーカー

1894年、愛知県半田町に生を受けた浅賀ふさは、25歳で兄とともに渡米。  
アメリカでふさが出会ったのは、当時発展しつつあった  
「医療ソーシャルワーカー」という仕事でした。  
ひとりの女性の社会活動への情熱と功績をラジオドラマとして再現。

CBC ラジオ放送スケジュール

第1話	浅賀ふさ アメリカ物語	12/1 (金) 21:10～21:40
第2話	浅賀ふさ 孤軍奮闘物語	12/8 (金) 21:10～21:40
第3話	浅賀ふさ 子ども支援物語	12/15 (金) 21:10～21:40
第4話	浅賀ふさ 名古屋で教育者に	12/22 (金) 21:00～21:40 (拡大版)



声優：  
竹下 景子  
浅賀ふさ先生  
成人期

撮影：藤山紀信



声優：  
戸松 遥  
浅賀ふさ先生  
少女期



声優：  
近藤 芳正  
鈴木修学先生

脚本：鹿目 由紀 企画・制作：CBCラジオ 特別協力：日本福祉大学

## 2023年12月、CBCラジオで4週連続放送



radikoでも聴けます♪  
<https://radiko.jp/index/CBC/>



「さいしょの一步～浅賀ふさ物語」  
特設サイトはこちら





幸せの種まき

人生のどのような時も

功徳を積み重ね

自分の心を磨きましよう

仏教は今世も来世もその次も

生死を繰り返しながらも

功徳を積み重ねようという教えです

大乗山  
法音寺



編集後記

この一年を振り返ると、さまざまな人達との出会いや別れがありました。喜びも悲しみも人生を彩るかけがえのない思い出です。よく講日のご話で山首上人さまは「一期一会」についてお話しくださいますが、私達はその意識を常に忘れずに行動しなければならぬと思います。

今月号では御法推進全国大会のレポートを掲載いたしました(41頁)。令和6年からの御法推進目標は「悦可衆心」、実行目標は「よい教えを伝えよう」と定められたことが発表されました。私達はどうしても「自分のこと」だけを考えてしまい、信仰も自分一人で完結させがちです。

周りの人に感謝し、親切を施して喜ばせる。人の幸せのために働くことを自らの喜びとする。そしてその姿を通して周囲の人を感化する。御法を学ぶ私達一人ひとりが実行し、世のお手本となろう。まず家庭から、そして地域に広がり、ゆくゆくは国が、世界が平和になっていく。これこそ、法音寺の原点である杉山辰子先生の仏教感化救済会から脈々と続く私達の信仰です。

私達は心を定めて新しい年を迎えたいものです。





# おも かい 思いがけないお返し

竹中 淳



じゃあ



まんが  
漫画 ありがとう  
すごく良かった  
感動したよ



れん  
蓮く〜ん



さよなら  
バイバイ  
じゃあね



バッチリ  
だろ？

れん  
蓮の心の声に  
アフレコつけて  
みました

かって  
勝手にボクの  
心を読むな！



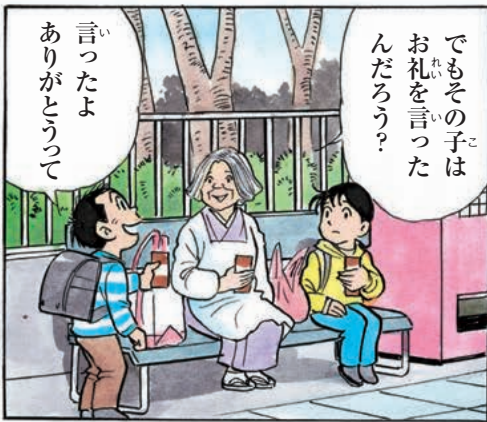
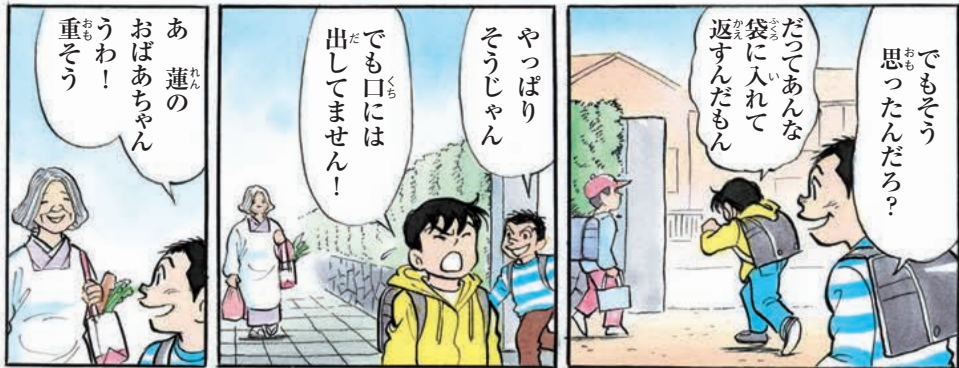
チョコくらい  
入れとけよな

なんだよ、  
貸してあげたのに  
何のお返しも  
なしかよお

え  
なに!?



ククツ







だったら  
それで終わりで  
いいじゃない

貸してあげたって  
いつまでもこたわって  
お返しのことばかり  
考えてたら  
頭からずつと  
はなれなくなつて  
苦しくなるんだよ

そんなの  
つまらないわよ



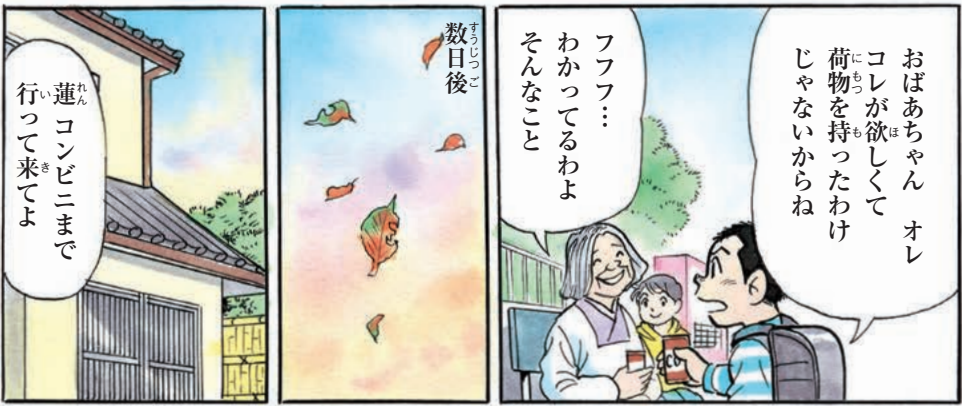
その子は漫画を  
借りられて喜んで  
くれたんだ  
それでいいじゃないか

おばあちゃんの  
言うとおりのな



お返しなんて  
期待しないで  
困ってる人がいたら  
ただその人が  
喜ぶことを  
やってごらん

そうしたらいつか  
思いがけない所から  
お返しが返ってくる  
かもしれないわよ

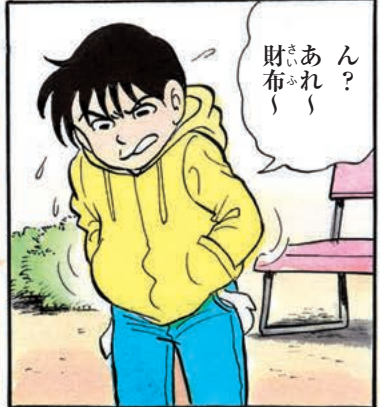
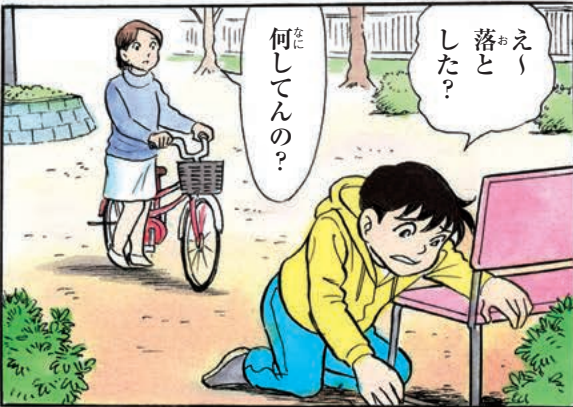
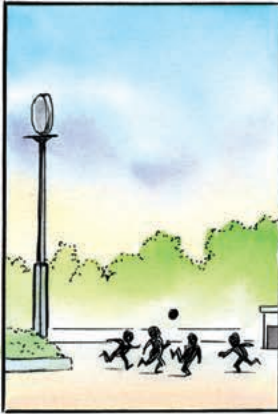


おばあちゃん オレ  
コレが欲しくて  
荷物を持ったわけ  
じゃないからね

フフフ…  
わかっているわよ  
そんなこと

数日後

蓮コンビニまで  
行って来てよ







どう  
しよう…



ないよお



ここで  
遊んでて…

わたしこっち  
捜すから



え、財布？  
どの辺で？



あつた！  
これ  
じゃない？



お礼？今  
してくれたじゃん  
ありがとうって

一緒に捜して  
くれた…  
その…お礼  
…したいん



ああ良かったあ  
助かったよ  
本当にありがとう

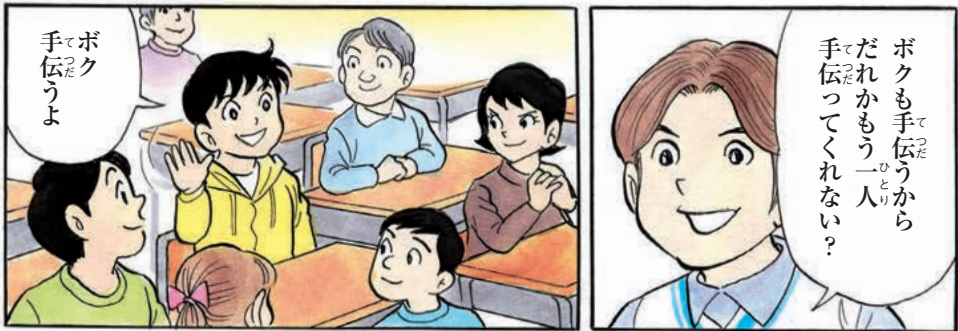
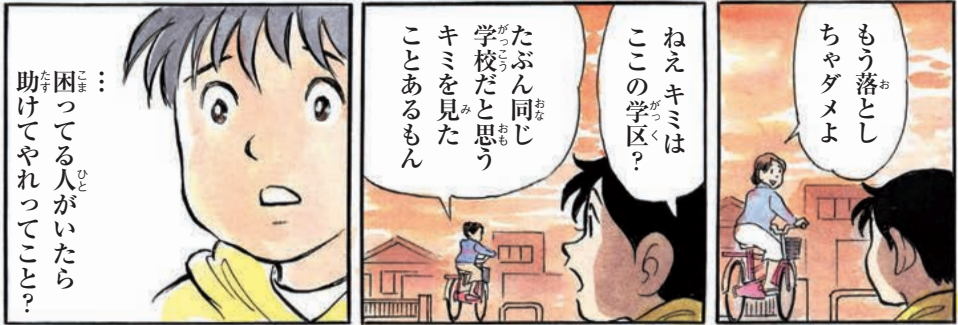
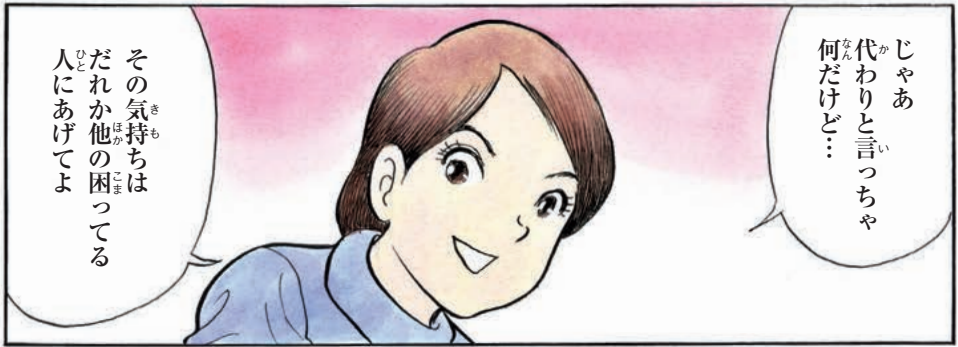
みつかった  
良かったね



ばあちゃん  
と同じこと  
言ってる

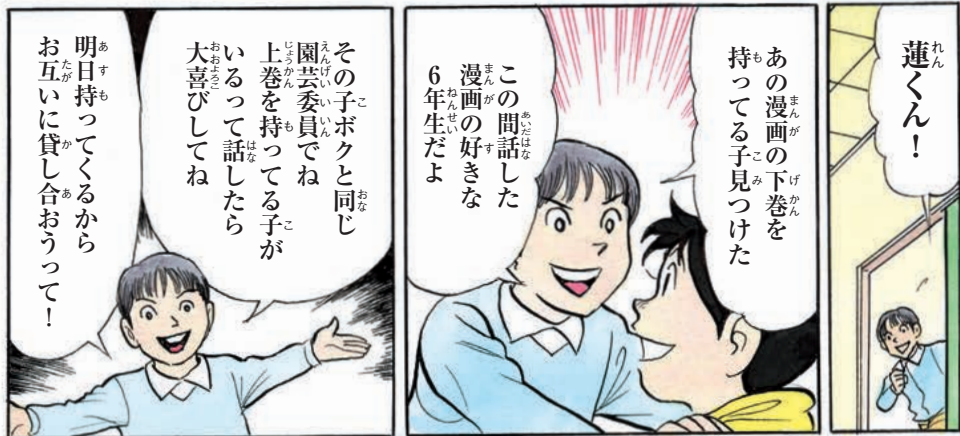
ありがとうって  
言っただろ  
じゃそれで  
いいんじゃない











おしまい



# 法音寺物語

社会福祉という言葉がなかった時代…  
人々を本当の幸せにする仏教の精神で  
社会的弱者を救済する人達がありました。



貧困にあえぐ人達に食料や医療を施し、  
差別を受けたハンセン病を患った人々に  
寄り添い、様々な事情で親をなくした  
子ども達を養育し、障がいを持つ人々に  
生きる希望を与えてきました。



お寺になったのは戦後(昭和22年)のこと。  
初代住職・鈴木修学上人は、福祉施設を  
運営する中で、本当に人々を救済するには  
“専門的知識を身につけた人材が必要”と考え、  
日本初となる社会福祉教育専門の4年制大学・  
日本福祉大学を開設しました。



その後、“仏さまの教えを実行し、困っている人達を  
救済しよう”という理念に共鳴する人達が各地に  
増え、全国に40の支院・布教所が設置されました。  
多くの心ある人達の善意に支えられて、現在では、  
高齢・障がい・児童の19福祉施設が運営され、  
大学では多くの学生が社会福祉を学んでいます。





# 勇猛精進

相手を満足させればすぐ喜びがくる  
相手をいたわれれば喜び合う日が必ずくる

写真・法音寺大本堂  
《山首上人の大荒行御成満奉告法要の砌》

## 日蓮宗大乘山 法音寺

〒466-0832 名古屋市昭和区駒方町3-3 TEL.052-831-7135  
https://www.houonji.com FAX.052-831-9801



講話日

毎月7日・17日・27日  
午後1時30分

ホームページにて月刊法音を掲載しています

### SNSでつながる法音寺

法音寺公式  
**facebook**で

毎朝7時

『一日一言』  
配信中!!

こちらの  
QRコードから  
ご覧いただけます。



毎週火曜日  
**法音寺メールマガジン**  
配信中!!

山首上人のみ教えや毎月の予定、  
人にやさしく生きていくための  
コツなどを配信します。

こちらのQRコードから  
メールマガジン登録フォームを  
ご覧いただけます。



**YouTube**にて  
**法音寺チャンネル**  
開設中!!

[https://www.youtube.com/  
user/houonjimovie](https://www.youtube.com/user/houonjimovie)

こちらのQRコードから  
法音寺紹介動画を  
ご覧いただけます。



詳しくはホームページ、またはYouTubeサイトで

法音寺

検索

### 法音寺の社会福祉・教育事業

徳を昭(あき)らかにし、徳を以って世間を照らす

#### 社会福祉法人 昭徳会

- 児童養護施設
- 障がい児入所施設
- 障がい者支援施設
- 特別養護老人ホーム
- 障がい福祉サービス事業
- 養護老人ホーム
- 軽費老人ホーム
- 保育所
- 軽費老人ホーム(特定施設入居者生活介護事業)
- 自立援助ホーム

法人本部

〒466-0832 愛知県名古屋市長和区駒方町4-10  
TEL (052) 831-5171  
<https://www.syoutokukai.or.jp>



我が如く等しくして異なること無からしめんと欲す

#### 学校法人 日本福祉大学

- 日本福祉大学大学院
- 日本福祉大学
- 日本福祉大学中央福祉専門学校
- 日本福祉大学付属高等学校

法人本部

〒470-3295  
愛知県知多郡美浜町奥田会下前35-6  
TEL (0569) 87-2211  
<https://www.n-fukushi.ac.jp>

